2003 SHOP CALENDAR

カレンダーの 赤文字 は当社の休日となっております。

1 January

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2 February

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

3 March

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

4 April

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

5 May

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6 June

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

7 July

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8 August

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

9 September

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

10 October

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11 November

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24	25	26	27	28	29

12 December

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

株式會社 名機製作所

本社・工場 〒474-8666 愛知県大府市北崎町大根2
TEL(0562)48-2111(代) FAX(0562)47-2316
ホームページ http://www.meiki-ss.co.jp/

モルダ事業部	東京支店	〒100-0005	東京都千代田区丸の内3-1-1（国際ビル）	TEL(03)3212-7731(代)	FAX(03)3212-7730
	中部支店	〒474-8666	愛知県大府市北崎町大根2	TEL(0562)47-2391(代)	FAX(0562)47-2395
	大阪支店	〒564-0063	大阪府吹田市江坂町2-1-43（KYUHO江坂ビル5F）	TEL(06)6386-2151(代)	FAX(06)6386-0932
	海外統括	〒474-8666	愛知県大府市北崎町大根2	TEL(0562)48-2120(代)	FAX(0562)47-2316

足利営業所　高崎営業所　埼玉営業所　厚木営業所　静岡営業所　北陸営業所　三重営業所　九州営業所

オプティカル事業部	本社	〒474-8666	愛知県大府市北崎町大根2	TEL(0562)48-2129(代)	FAX(0562)48-2412
プレス事業部	本社	〒474-8666	愛知県大府市北崎町大根2	TEL(0562)48-2237(代)	FAX(0562)48-2441

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています。
PROVEN SOY INK 大豆に対する悪影響を軽減させる大豆インキを使用しています。

発行責任者　平松 英司　03.1.3000S

MEIKI NEWS

2003年1月発行　No.174
名機ニュース

海外拠点のご紹介
2003年度名機スクール開校スケジュール

賀正

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて昨年のわが国経済は、一部の経済指標に改善の兆しがあるものの、実体は世界同時不況の様相を呈する中、株価の下落や引続くデフレ傾向に金融システム不安が相俟って先行き不透明感が一層強くなりつつあります。

国内における需要は、射出成形機、プレス業界共々減少が続く中、輸出比率は70％以上となり、その厳しさは一層強いものがあります。

このような環境のなかで、弊社は昨年の10月に世界初のダイレクト駆動式大型電動射出成形機「NADEM13000」（1300tonを完成しました。また、11月に開催されたIPF2002には「脱・常識宣言」をテーマに掲げ、薄肉製品を超高速高圧ではなく機械、樹脂、金型にやさしい、より低速、より低圧で成形して好評をいただきました。即ち、より標準機に近いワンランク小さい成形機で成形することにより、省スペース、省エネ、省投資金額を実現しました。

一方、次世代成形品として注目されている燃料電池用セパレータ成形機「SEPICS」も発売を開始し、お客様の潜在ニーズを実現する新商品の開発にさらなる経営資源を投入して、創造力の高い開発型経営をめざしてまいります。そしてお客様と喜びを共有できますよう、全力を投入する所存でございます。

本年も皆様方の益々のご発展をお祈り申し上げますと共に、弊社に対しまして従来にも増してご指導を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長　酒井 康一

MEIKI　●地球にやさしい21世紀のテクノロジー［未来を考える企業です。］

海外拠点のご紹介

名機 タイランド TEL.66-2-266-6325 E-mail:meiki@loxinfo.co.th

1990年に開設した駐在員事務所を経て1996年10月に設立し、現在に至っております。担当管轄はタイおよびベトナムです。バンコクのオフィス街、シーロム通りに位置し、渋滞の激しいバンコクにありながらも高速道路へのアクセスは良好な場所です。

タイの経済は1980年代より安い人件費を武器に製造業を中心として急速に発展し続け、1997年の経済危機により大きく落ち込んだものの、今ではほぼ回復。2001年の米国テロ事件の影響や、昨今の日本国内の長期不況の影響もあり、鈍化傾向ではありますが内需・輸出共に成長を続けております。政情も安定しており、東南アジアの中心地として今後も発展していくものと思われます。日系企業の新規進出も続いており、既に進出している企業では生産規模を拡大しているところもあります。また、プラスチック関連についても同様に自動車産業を中心に盛り上がりを見せており、まだしばらくは成長が続くものと思われます。この様な中で、ここ数年射出成形機の出荷台数も増加しており、この状況に対応すべく、Meiki(Thailand)Co.,Ltd.では人員を含めた拡大・強化を図って来ております。名機製作所はタイ国に於きましても日本国内と同様に、射出成形機の性能およびサービス体制につきまして、お客様より高い評価を頂いております。今後共、タイへ進出されるお客様のために、益々充実させていく所存ですので、宜しくお願い申し上げます。

・社　　長　並松 敏博
（名機シンガポール社長兼任）
・セールス　浅田 直樹
・サービス　平瀬 学
・ローカルスタッフ　5名

名機 シンガポール TEL.65-763-4755 E-mail:meikisingapore@pacific.net.sg

2002年シンガポールでは、シンガポールの象徴である"マーライオン"が、お化粧なおしをし、今まで観光ガイドブックの写真でしか見たことのなかった、口から水を吐く姿が常時見られるようになりました。恐らく10年以上に渡り、口から水を吐く姿は見せていなかったのではないでしょうか？夜はライトアップされ本当に美しい姿を見せてくれるようになりました。今後シンガポールを訪れる観光客の皆様の人気スポットになることでしょう。

さて、中国進出に沸いた2002年も終了し2003年はどのような年になっていくのでしょうか?引き続き中国進出が盛んに行われるのでしょうか?ここシンガポールでも、日本の後を追うかのように、製造拠点を海外へ移す動きが活発になってきました。シンガポールでのプラスチック部品製造は、おもにコンピュータおよび家電関係が中心であり、これらのメーカによる低コストを求めた生産拠点の移転、サプライヤの絞込みなどの影響を受け、プラスチック製造業は大きく変化してきました。以前は、隣国のマレーシア、インドネシアへ進出する事が多く見られましたが、やはり例外なく今では中国への進出が積極的に行われるようになりました。また、メーカによるサプライヤの絞込みも行われ、シンガポールでの大手サプライヤでは急激に仕事量が増え、低コストでの大量生産の構図ができてきました。しかし、この大量生産もシンガポール国内での製造ではなく、隣国、および中国での製造がほとんどです。

左記の状況により、昨年シンガポール企業が行った設備投資のほとんどが隣国および中国への設備投資でした。シンガポール国内のプラスチック製造は、空洞化の一途と言える状況になってきました。このような状況下では、わたくしども成形機製造メーカとしてお客様のお役に立つにはどうすべきか？を常に考え、即実行して行かなくてはなりません。

2003年、私達は、お客様が抱えておられる厳しいコストダウンにお答えできる成形機の製造、海外へ進出されたお客様、また今後進出されるお客様が安心して名機製作所の成形機を選定できるサポート体制の確立等更なる努力をして行く所存であります。

2003年もお客様には引き続き名機製作所を御支援頂きますようお願い申し上げます。

・社　　長　並松 敏博
・セールス サービス　横河 誠
・マレーシア 駐在サービス　竹内 吾一
・ローカルスタッフ　2名

名機 香港 TEL.852-2887-6773 E-mail:meikihk@hk.ntt.net

中国の人口は14億近くにのぼり、そのGDPも毎年7-8%増加しています。新聞等でもよく記載されている様に中国産業は急激に伸びており、今後も生産面では世界トップを誇ることは間違いないと思われます。過去20年の射出成形機納入台数を調査したところ、特に広州と上海地区への納入が多い事が解りました。広州地区でのプラスチック産業は雑貨類が主流でしたが近年付加価値の高い自動車部品、複写機関係の企業が次々と進出しています。

成形機の仕様等も過去と比較すると特殊なものになっています。香港地区に進出する日系企業はどの業界もコストダウンを迫られているなか、日系成形会社は特に苦戦しています。中国に進出する日系成形会社の多くは地元中国系、香港系、台湾系と激しく競争をしており、固定費が低い地元成形企業は優勢だと思います。その理由として、地元企業は日系の成形機、付属機器等を設備しており、逆に日系成形会社で固定費を削減するため、地元成形機を設備する会社も少しずつですが増加しています。地元の機械は日系より低価格ですが成形の安定性、機械不具合等で悩む会社が後を断ちません。製品の品質低減と共に仕事量の低減を伴います。その他にも日系企業より地元企業の方が中国政府とも仲が良く納める税金等で特別扱いされています。

広州地区に進出を検討する日系企業に下記の点を御提案致します。

①中国会社あるいは工場設立をお手伝いできる認定された会社と相談。
②中国で進出を検討しているエリアの会社設立の段取り調査。
③地元中国政府とうまく会話、そして信頼できる人材。
地区によっては企業法律、税金、土地賃貸規定等が異なるため、必ず地元政府との確認が必要。
④中国本社事務所を香港に設立する事も得策。日本円、米ドル紙幣等の人民元への両替あるいは資本の送入金等。

香港地区に於て、当社は商社を利用して機械の販売からアフターサービスまで行っております。香港商社名はCARVON TRADING COMPANYで従業員7名です。LEE総経理を始め、経理担当1名、営業担当3名、技術員2名で構成されております。営業担当3名中1名は名機製作所からの日本人駐在員です。その他、全員地元香港のスタッフですが営業担当者は元々サービスマンから始め、必要な場合、計4名のサービススタッフを派遣できる体制が整っております。サービスマンは何れも最低6年以上の経験を持っており、お客様に満足できるアフターサービスを御提供しております。

香港にスペア部品をある程度在庫しており、今後深圳に事務所を設立、サービスマンの増員および通関済み部品をいち早くお届けできる体制を整えております。LEE総経理は26年間名機と付合い続けており、商社では珍しく名機の成形機のみ販売、サービスをしております。中国は無限の可能性があると同時にリスクもそれだけ伴う事を留意して頂きたいと思います。

・セールス　仁田尾 竜一
・CARVON　7名

名機 上海 TEL.86-21-6296-4042 E-mail:meikiliu@sh163.net

昨年1月より上海の閔行区に駐在員事務所を設立いたしました。ご存知の通り、中国は1980年代から改革開放の政策をとり、現在世界の生産センタとしての地位をかため、さらに巨大人口をバックに消費大国になってきています。

1997年のアジア経済危機の影響を受けながらもGDPは毎年7%以上を維持してきました。少なくとも2008年の北京オリンピック大会まで、この成長率は維持されると思われます。

上海区域は90年代中頃から安い人件費を武器に製造業を中心として急速に発展を続けてきました。広東省はIT、家電産業を中心としていますが、上海地区では自動車も中国市場に大きく貢献しています。上海汽車は中国の四輪車の30%のシェアを誇っています。2001年の米国テロ事件の影響や、昨今の日本国内の長期不況の影響もあまり受けていませんが、巨大市場であるがゆえ競争も激しくなってきています。日系企業の新規進出も続いており、既に進出している企業では生産規模を拡大しているところもあります。また、プラスチック関連についても同様に自動車産業を中心に盛り上がりを見せています。この様な中で、ここ数年、射出成形機の出荷台数も増加しており、この状況に対応すべく、中国に於きましても日本国内と同様に射出成形機の性能およびサービス体制について、お客様より高い評価を頂けるよう、益々充実させていく所存でございますので、宜しくお願い申し上げます。

・セールス　劉　朝斌
・サービス　齋藤 英明
　　福岡 広孝
・CRTC　3名

名機 台湾

TEL.886-3-328-7070 E-mail:CZQ04145@nifty.ne.jp

私は現在中租貿易(CRTC)の産業設備部に名機の出向と言う形で席を置いています。営業全般、アフターサービス、サービスのアドバイス、他何でもこなします。現在営業部員22名の内サービスが7名です。

台湾市場は計画から完成までのスピードが最大の武器です。それに伴ってコスト。お客様の要求は相当きついものがあります。成形機を購入するに当っても計画が決定したら即機械が欲しいとの話は多々あります。情報を掴みなるべく対応できるようにしているつもりでも、なかなかうまくいきません。またアフターサービスの対応もより重視されます。その点CRTCのサービス体制は万全です。技術的に不安な点は多少否めませんが、教育、研修を行い向上に努めています。安心して機械を使って頂く体制が整っています。そのかいもあって台湾での受注も現在のところ順調です。しかし、空洞化の波は阻止できず、殆どの台湾企業は大陸に工場を建てているか、または進出の時期を見計らっています。設備は大陸、契約は台湾としている企業が多々あります。

では、中租名機(股)(MTM)を少し紹介します。

現在日本人としては上杉が駐在しており、果敢に精力的に毎日作業をしています。MTMの事業内容は、新型の金型トライ、スポット成形およびDMRによる金型のメンテナンス等を行っています。今度NADEM1200を新たに追加いたしました。

台湾に出張の際は中正国際空港にも近いですし、訪台時、帰国時どちらでもかまいません、ちょっと覗いていってください。「何しに来たの」なんて申しません。

・セールス　当房 政志
・サービス　上杉 賢児
・CRTC　22名

名機 アメリカ

TEL.1-847-439-4450 E-mail:ito@meiki.com

名機アメリカは、北米で3番目の大都市シカゴの郊外、オヘア空港より車で15分程のところに倉庫付オフィスを構えています。夏は40℃近くに、冬は−20℃以下になる気候の厳しい土地ですが、住んでみるとなかなか住み心地の良い所です。都市部の人口は4百万を超え、商工業が活発な地域です。数多くの日本企業が進出しており、現在では約1万人の日本人がシカゴ地域に暮らしています。

10年間好景気が続いていたアメリカ経済も昨年9月の事件をきっかけに不況色を強めていますが、その中にあって自動車関連企業は活発な活動を続けています。特に中西部地域(ミシガン州、オハイオ州、ケンタッキー州など)が主であった自動車産業が南部地域(アラバマ州、ミシシッピー州など)にも広がる傾向にあります。

1987年に設立された名機アメリカは早くも16周年を迎え、更なるサービス向上と成長を目指し、現地アメリカ人従業員の育成に力を入れています。当初は日本人3名に現地従業員1名の4名でスタートいたしましたが、現在では日本人4名、現地従業員6名の10名体制に成長いたしました。

北米大陸は西海岸より東海岸まで横断するのにジェット機で6時間を要し、時差が3時間もあります。同じ国の中で時差があるということは日本では想像し難いことです。名機アメリカのエンジニアは文字通り、"東奔西走"しています。

このような広大な国で、更にサービス向上を図るためにカナダを含む北米主要地域に販売サービスネットワークを広げる準備をしています。北米地区のお客様が安心して名機の製品をお使いいただけるように、更なる成長を目指しています。

・社　長　伊藤 俊通
・セールス　高部 省
・サービス　上田 義孝
田中 良一
大宅 勝喜
・ローカルスタッフ　6名

2003年度 名機スクール開校スケジュール

	基礎コース	成形応用コース	油圧・電気コース	熱硬化性基礎コース	電動成形機基礎コース
2003 4月	3月31日～4日 21～25日				14～18日
5月	19～23日		12～16日		
6月	9～13日	2～6日			
7月	6月30日～4日 7～11日				14～18日
8月	18～22日	25～29日			
9月	15～19日		8～12日		
10月	6～10日 27～31日			9月29日～3日	20～24日
11月	24～28日	10～14日			
12月	8～12日	15～19日			
2004 1月	19～23日		26～30日		
2月	9～13日	16～20日			23～27日
3月	8～12日	15～19日		29～4月2日	

■**開校時間**：初日はAM9：00よりPM5：00まで、2日目～5日目はAM8：30よりPM5：00までです。

■**場　　所**：当社本社名機スクール内（愛知県大府市北崎町大根2）

■**募集人員**：定員は各コース7名です。定員をオーバーする場合は日程を変更していただくことがありますのでご了承願います。

お知らせ

「認定訓練派遣等給付金制度」は平成14年3月をもって廃止され、「キャリア形成促進助成金制度」に統括運用されることになりました。詳細は、事務所が所在する都道府県の雇用・能力開発機構の各都道府県センターまでお問い合せ願います。

ご来場誠にありがとうございました

IPF2002

名機製作所ブースへお立ち寄りいただき誠にありがとうございました。予想以上のお客様にご来場いただき、社員一同感謝いたしております。

会場では、メインテーマを「脱・常識宣言」、サブテーマを「射出圧縮・射出プレスで常識をくつがえす」として、従来の射出成形の常識を越えた、名機製作所が得意とする技術をご覧いただきました。

通常の射出成形では、型締力850tonでも成形が困難なアタッシュケースを直圧式電動射出成形機NADEM5000L-DM（型締力500ton）で成形実演しました。また、従来のNADEMシリーズの性能を更にアップした電動可塑性成形機NADEM1500Ⅱ-DM、新開発の電動硬化性成形機NADEM1500Ⅱ-TSをご覧いただきました。

更に、射出圧縮技術を駆使する事により、15インチ導光板を型締力280tonでハイサイクル成形し、世界で最も実績のある名機ディスク専用機にハイブリッド技術を融合させたDVD成形もご覧いただきました。今後とも、名機製作所の射出成形機にご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

中部地区内覧会

10月3日、4日の2日間、当社本社工場内に於いて新開発大型電動射出成形機をはじめとする内覧会を開催致しました。

NADEM13000では、お客様の「ついに大型機も電動化が本格的に進むのか」というお言葉から始まり、成形実演での動きのスムーズさ、サイクルアップを含めた電力消費量の少なさ、その省スペースに感心して頂きました。

SEPICS-300をご覧頂き、燃料電池という新分野への期待をかなりお持ちと実感致しました。

その他、中型電動射出成形機、小型2色射出成形機を加えた4機種、それぞれの特長をとらえて頂き、貴重なご感想ご意見を賜り、大変有り難い2日間となりました。お陰様で予想をはるかに上回る大盛況となり、誠に有り難うございました。

なお、この4機種共常設展示しておりますので是非成形トライを行って頂き、現在お持ちの成形機と比較して頂ければ幸いです。